

大河原ロータリー

クラブ会報

例会日：毎週木曜日 12時30分

例会場：和洋亭 ぶざん

柴田郡大河原町字新南25-18

TEL 0224-51-1113

会長：村上 則夫

副会長：樽見 正仁

幹事：佐藤 能文

副幹事：丸山 勝利

広報・ICO

委員長：津田 政行

副委員長：岩間 範男

委員：岡崎 隆・佐藤克美・高橋大志



2017～2018年度
国際ロータリーのテーマ

ロータリー：
変化をもたらす

ROTARY:
MAKING A
DIFFERENCE

2017-18年度 RI会長 イアン H.S. ライズリー

国際ロータリー第2520地区

2017-2018年度ガバナー 藤崎三郎助

事務所：〒989-1224 大河原町金ヶ瀬字町17 TEL0224-51-1400 FAX0224-51-1188 info@rotary-ogawara.com

2017年8月3日(木) 第2425回例会

本日、米山奨学生のグエン.ティ.イエンさんの誕生日です。

サプライズで誕生ケーキと誕生プレゼントがありました。



▲奨学金の授与



▲米山奨学生のグエン.ティ.イエンさんへ

24歳のバースデーケーキのプレゼント



▲藤江裕佳里米山委員長より誕生プレゼント



▲グエン.ティ.イエンさんより御礼の挨拶



会長あいさつ

会長 村上 則夫

皆さんこんにちは、本日はゲストスピーカーに北上ロータリークラブの笠井昭彦
パストガバナーにお出で頂いております。本日は大変有難うございます、後ほどス
ピーチを頂戴致しますのでよろしくお願い致します。

先日、当クラブの元会員で第32代会長の安藤征夫様が7月28日ご逝去され、昨
日一昨日とロータリークラブを代表して通夜・告別式に参列してまいりました。安
藤征夫様のご冥福を心からお祈り申し上げます。

今日は、8月初めの例会ですので、誕生会員と結婚会員のご紹介をいたします、8
月5日、安藤幹郎会員でございます、8月31日桜井俊寛会員でございます、結婚記念会員はございません。

先週の土曜日29日地区の財団セミナーに櫻井委員長と4役と武藤ガバナー補佐の6名で参加して来ました、
10時半から3時半までの会議で休憩もなく丸山副幹事も休憩がなく大変ですねと感想を漏らしていました、
その中で櫻井委員長が質疑応答で、ロータリー財団で0クラブ0クラブと言われているが、寄付金が振り込
まれていない、それは何時をもって、通常であれば年度6月30日ギリギリでいいんじゃないでしょうかと話
をしましたが、それを押し通しましたら10月の末に集計をして11月の初めにその結果が出ます、それなので
10月末までに納めて頂けると0クラブということはありません、寄付ですから必ずしなくてはならないとい
うことではありませんので、クラブの判断に委ねられていると思うのですが、やっぱり毎回毎回会議がある度に
0クラブ0クラブと言われるとあまり良い思いをしませんので、そういうことも櫻井委員長から質問して頂き
その内容が分かりました。

大河原ロータリークラブとしても10月末までに会計が払い込んでいるということです。1年間分の予算を払
い込んでいただいております。その後、反省会を大ちゃんで行いました、財団セミナーでいろいろな話を私も
財団の方と話をしましたが、ガバナー補佐が一人でいろいろな会議に行かれるので、そのガバナー補佐を補佐
するカバン持ちでもないのですが、ガバナー補佐が勉強したことを次のガバナー補佐が受け易いようにガバ
ナー補佐の動きを少し勉強した方がという事で、皆さんも良いのではないですかということで、他のクラブでも
ガバナー補佐の補佐をしているということで今年一年だけですが私の独断と偏見で、後は5年後ぐらいで回っ
てくるわけですが蔵王ゾーンとしてはガバナー補佐の補佐を誰かにお願いをしたいということでお話をした
ら、櫻井前会長をガバナー補佐の補佐として武藤ガバナー補佐と一緒に行動していただければ良いのかなと思
いましたので櫻井前会長に補佐の補佐をお願いしたいと思っておりますのでどうぞ宜しくお願い致します。

あとロータリーの友を皆さん読んでいただいていると思うのですが、ロータリー月間といたしましてロータ
リーの友を読むということも大事なことでございます。7月のロータリーの友には米山の財団が50周年を迎え
るということで来年の2月に式典が開催されます。藤江さんにもお話をしましたが、米山梅吉記念館が三島
の方にあるのですが是非これを見学しながら式典に参加をしても良いのではないかなと思いました。来年の2
月4日に50周年の記念が開催されます、日本のロータリーを作った方ですので是非皆さんでお伺いしたと思
っております、あと今月のロータリーの友にはアトランタの大会の様子が載っていきまして、その中に財団の事
が書いてありますが、ゴルフの帝王ジャックニクラウス、皆さんゴルフをしますしゴルフの大家がいらっしゃる
ので、それにジャックニクラウスが財団の副会長ということで写真が載っておりました、ジャックニク
ラウスと言うと仙台南ゴルフ倶楽部の設計をなさっていきまして、その設計で一回出来上がる前に来ているの
ですが確りと出来ているか確認で、私の所も色々関係がありまして直筆のサインと写真がうちの会社にあります
けれども、皆さん凄いことを行っているという事も載っております、あといろいろ載っておりますが、アト
ランタの大会のことなど、いろんな内容が載っていますので是非ロータリーの友をご拝読いただければと思
います。7月号に昨年のポリオの写真が載っておりますそれも、先日の財団セミナーの時に大河原ロータリーク
ラブということで発表していただきました。

あとは、今月の夜間例会は公開例会という風にしたいと思っております、それは何かと言うと今月は会員増強月間
でございますので皆様のお知り合いを例会にお呼びいただいてロータリーではどのような活動しているのか

など、雰囲気味わっていただければと思いますので是非皆様のお知り合いを例会に誘っていただければと思っています。最後に出席を幹事より取らせて頂きますのでどうぞ協力よろしくお願いいたします。以上で会長の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

幹 事 報 告

幹 事 佐 藤 能 文



皆様お疲れ様です、本日もご出席頂きありがとうございます。

●村田ロータリークラブ から例会の変更の案内が届いております、注意点が 8 月 8 日の水曜日並びに 8 月 16 日の水曜日は休会と言うご案内が来ております。

●続いて、大河原ロータリークラブ会報が詳細に編集され、津田広報委員長より 作成していただいております。その広報はネットのホームページでも見られますので、どうぞご覧いただきますようよろしくお願いしたいと思います。

●宮城県の骨髄バンクより、ご寄付のお願いが届いております。
本日のご報告は以上となります。

各 委 員 会 か ら の 報 告



会員増強委員会から 委員長 武山 雄二

皆さんこんにちは、会員増強委員会からの案内です、村上会長が先ほどご案内の話をしていましたけれども、私からも一言お話しさせていただきます、今月の第 3 例会を大ちゃんのお店で 6 時半から行います。

是非、若い皆さんにお願いしたいのですが一人ずつお誘い頂き出席をお願いします。以上でございます。

また日にちが近くなって来ましたら、幹事より F A X でご案内させていただきます。

米山 BOX の報告

副委員長 高 城 英 男

櫻 井 淳 一 会 員 グエンティイエーンさん、誕生日おめでとうございます。

佐々木由美子会員 積立てます。

藤 江 裕佳理会員 今日はグエン. ティ. イエーンさんのバースデーです、米山の奨学生がこれからも増えることを願って積立てます。

八 島 幸 夫 会 員 少しずつ積立てます。

吉 田 茂 会 員 今年度分です。

スマイル BOX の報告

委員長 佐々木 伸 明

村 上 則 夫 会 長 笠井パストガバナー本日はお忙しい中スピーチにお出で頂き有難う御座います。
先日、誕生ケーキを頂きました、家族みんなで美味しく頂きました。

パストガバナー笠井昭彦様 今日はお招きを受けまして。

武 山 雄 二 会 員 笠井パストガバナーを歓迎いたします。

高 城 英 男 会 員 笠井パストガバナー様、本日のご指導よろしくお願い致します。

櫻 井 淳 一 会 員 笠井パストガバナー、本日は多忙中にも係らず誠にありがとうございます。

八 島 幸 夫 会 員 パストガバナー笠井昭彦様を歓迎します。スピーチ有難う御座います。

佐々木由美子会員 本日のスピーカー、笠井昭彦様宜しく願い致します。
グエンさん、お誕生日おめでとうございます。

佐 藤 能 文 幹 事 2520 地区会員増強、ロータリー広報委員会笠井昭彦委員長スピーチ宜しく願いします。

佐々木 伸 明会員 本日のスピーカー2520 地区会員増強、ロータリー広報委員会委員長、パストガバナー笠井昭彦様を歓迎いたします。

出席の報告 出席委員長 櫻井俊寛

本日の出席のご報告を致します。本日は24名出席で66.67%です。

なお、再来週の17日は休会となりますので宜しくお願い致します。

2520 地区 会員増強・R広報委員会 委員長 笠井昭彦様（パストガバナー・北上RC） 国際ロータリー特別月間「会員増強・新クラブ結成推進月間について」



皆さんこんにちは 本当に懐かしく今日、大河原クラブに訪問することができました。やはり久しぶりに訪問してみて、ここのクラブは活気があるなと感じました。第一にプログラム委員長さんがいて主な予定を会長幹事でなくてプログラム委員長が仕切るそして計画を立てる、私への案内も大抵クラブ幹事より連絡があるのですが、大河原ロータリークラブはプログラム委員長さんより私へスピーチの依頼がありました、これが本来のクラブのやり方ですね、そういう意味では本当に感心しました。私は大河原クラブさんへは正式に言えば11年目11年前に武山さんが会長の時にガバナーとしてお伺いして非常に歓待を受け、さらに武山さんの料理がまた美味しくて酒も美味かったという強烈なイメージがあり、そして同時にゴルフも一緒に表蔵王でやらせていただいて本当に懐かしいクラブであります。もう一方はお亡くなりになったそうだけれども

庄司稔パストガバナーさんは非常に人柄も良い方で、私もいろいろガバナーとして教わりました、それからゴルフも岩手の方にも来て一緒にやっていただいたことを懐かしく思い出します。

不思議なことに、会員増強月間に呼んで話を聞こうというクラブはそんなに多くありません、本来であれば大河原さんのようなクラブではなく、10人代とか20人代とかであくせくしているクラブあたりが増やすにはどうしたらいいだろうかと言うのを本来は考えていかななくてはならないのに、だいたい世の中とは不思議なもので、それほどスピーチを聞かなくても立派にクラブをやっている様なクラブさんが更に勉強したいという事で呼んでくれます、それから会員を見渡した時に若い会員も何人かいらっしゃる、更に女性会員も入っている、なかなかこのようなクラブはあまりないです、今日お見かけして大河原ロータリークラブはあと50年は大丈夫だなと、50年先はどうか分かりませんが？。

そのようなことで今日は時間が短いので原稿を書いて来ましたが、本当は原稿を読みたくないのだけれども時間内で収める様にしなければならないので、こういうことになるのかなと思います。それでハッキリ言いまして当地区79クラブ有りますけれども、半分ぐらいが近い将来10年ないし20年以内に消滅してしまうのではないかと、存亡の危機に入っていると私は見ています、今年のRI会長は、今年度の目標の第一としてはクラブをサポートしてクラブの強化をしてあげなさいと、クラブの会員基盤を広げて多様な会員を増やして活動に積極的な参加をしてくださいと言っています、更に女性会員の純増をしてください、ご存知の通り地球上の人口の半分は女性の理由ですから、その半分以上を抜きの残った半分の方だけで将来のロータリーを維持しようとしてもほとんど不可能な話で、どうしても女性の応援を得て会員を維持しなくてはならないと、それにつけて女性の会員数は10年前には全世界の13%でした、それから10年経ちまして全世界の平均は会員全体の22%が女性会員ということです。ところが我が日本は現在5.7%世界から見ると圧倒的に遅れています。これを単純計算して男女半々になる計算をしたら、あと30年かかる、30年後にはこの会員の中でもほとんど？私はとっくに亡くなりますし、そのぐらい気の遠くなるぐらいの時間がかかるという事です、そんなに時間をかけていたらどうしようもないということです、それからやはりもう一つは女性会員も大事ですが、やはり若い会員を入れて行かなくてはならない、いま日本の会員数40歳代は5%

しかない、平均で言いますと 59 歳が平均です、どうして将来ロータリーのためには若い会員の入会促進を真剣に取り組まなくてはならないのか、我が 2520 地区の事で話しをしますと現状の会員数が一つのクラブが 30 人以下のクラブは、全部で 79 クラブあるわけですがそれでもその内の 51 クラブが 30 人未満のクラブです、全体の 65%です、が全国では 34 地区ありますけれども、そのワースト 1 最下位という事です。1 クラブあたりの会員数が日本の平均では、39 人なのです、世界で言いますと 34 人が 1 クラブの会員数です。 R I はなんとか増やして財団の寄付を一杯くださいという意味で、増やすと言う事を言っているのではないと思いますし、自分のところのクラブが健全に、そして子々孫々健全に維持していくためにはどうしてもクラブ人数が 30 人代でも出来ますけれども、出来れば 40 人になりますかね、年会費の中で月 1 回夜の例会でお料理とかお酒とか年会費の中でこなせるのはだいたい 40 人だと思っています、ところで大河原クラブは 36 人と言いましたか、あと 4 人入会すれば 40 人になります、多分財政上の運営も楽になると思います。米山とか財団へのクラブに対しての寄付もその会費の中からそれなりに貢献していけるということが 40 人だと思います。

私のクラブは去年 36 人でしたが、私が 6 人増やしまして現在 42 名で非常に財政が楽になりまして、純米吟醸酒ぐらいが飲めるようになっていきます？、そこまでは是非頑張ってくださいと思います。

それからもう一つは若い人たちを 40 代 50 代の会員を入れていかないと 10 年後 20 年後に繋がらないと話しましたが、この 40 代 50 代の会員が入っていただいたとしても、例えば今日のようにウィークデイのお昼 12 時半から毎週来てくれと言っても、その年代は現場に行ってお仕事をしなくてはならない立場の人ですから、今まで通り週一の昼で、夜月一ぐらいでその年代の会員が入ってくれるのか、十分クラブとしては検討して、特に世界のロータリーのルールが変わりまして、クラブが主体だからトップダウンで上の方で決めたものを下の者がやるという事でしたけれども、現在はまずクラブが月 4 回行うというクラブがあっても良いし、月に 2 回にするとか、また夜は 2 回行って、そのうち 1 回はアルコールを飲まないとか、いろんなルールを改正するべき、そして最も若い人たちが入り立ちやすくするべきだと、私も去年 40 代を 4 人入会して頂いて、将来を考えて最初 3 人が OK をしてくれたのです、町でバリバリやる若手経営者が、そしたらその 3 人に条件をつけられまして笠井さんの息子さんも入ったら私も入りますと言われまして、しょうがなく私の息子が、いま社長をやらせていますけれども 42 歳ですが、お前何とか頼むと、でないとその 3 人は入らないと言うから、そして 4 人入って頂きました、ところがこの 4 人は出席率が悪いのです、今日は東京出張だ明日はまた出張だ、夜の例会にたまに出席するぐらいです、ですからうちのクラブではルール改正をする為みんなにアンケートをとりました、勝手に会長が決めたり理事会で決めたりしないで現会員或いは若い会員の声を聞いて、月何回ぐらいの例会だったら出やすいとか、時間帯はどうか、そういう調査をしてからクラブ規則を変えて行けば、更に出席率のいいクラブになるのではないかと思います。それからもう一つは若い会員に入ってもらうためには、現在の地区運営の方法、或いは組織の簡略化が必要だろう、それから地区分担金を各クラブが出していますが、この地区分担金が適当か是非か検討、それから先ほど言いました各クラブにルールの柔軟性を持たせる検討というものを各クラブ毎にやって参加しやすい環境づくりをするべきだ、会費や例会数や例会時刻等は今までを踏襲するだけでなく、思い切ったクラブ会則の変更等の改革をしなくてはならないと思います。それからもう一つ会員増強とは増やすだけではないのです、退会防止、辞めていく会員を減らす、これもひとつ大きな事で、我がクラブではお陰様で退会という会員は、私が入会してから今まで 40 年経ちますが、亡くなられた会員とか転勤によりやむを得ない事情で退会はありましたけれども、クラブ面白くないからという事で一人も辞めた会員はいない、それだけいかに入った会員をフォローしてあげるかということが大事で、入れば入ったばなしで、放りばなしでということを守るべきです、ですから入っていただいたならばロータリー教育をずっとフォローしてやる、例えば先ほどの米山の奨学生さんにはちゃんとカウンセラーが付いて面倒みてあげると、はたしてお宅のロータリークラブで誰か新入会員が入った時その方にカウンセラーを付けているかどうか、本来昔は 1 年間十分経験を積んだ会員が新入会員にカウンセラーとして一年間付いてくれた、そしていろいろな意味で教育をすると言う事を復活させるべきではないのでしょうか。

後は特に会員増強です、各クラブにも会員増強委員会とか会員増強委員長さんがいらっしゃると思うのですが、私が長年の経験から言いますと会員増強というのは会員増強委員長さんや副委員長さん、或いは先程武山さんが是

非若い人を連れてきてください、夜の例会の雰囲気を見て下さい、と言うのも一理あるのですけれども、だいたい見ていますと、本年度のクラブ会長がどれだけやる気があるのかということ、もう一人の相棒幹事二人で会員増強委員長には頼まなくてもいい、俺が3人や4人は入れてみせるからという、その行動をして引っ張って行く事が私は必要だと思います、クラブ会長と言うのは会社で言えば社長ですから、社長は1年間自分の会社を経営している時にお客さんの二人や三人増やせないのか、顧客を増やす事は社長の使命ですからお客を増やせない社長が経営していたのじゃ先行き真っ暗、同様にロータリークラブも会社企業体ですから、会長が自ら行動して絶対2人や3人入れられない理由はないということだと思ふのです、ただもう一つ付け加えるとロータリーに入ってくださいといくら言ってもあまりピンとこないです、いま日本の中に異業種交流団体・社会奉仕団体・ボランティア団体等は余るほどあるわけです、数あるクラブの中から大河原ロータリークラブに入ってもらえるよう、選んでもらう事をしなくては、会員が入ってこないわけですよ、じゃ大河原ロータリークラブはどういうところなのと言われたときにロータリーとは等の話をするのではなくて、我がクラブは入ればこういうことが出来る、ああいう事が出来ます等と熱く話をする、いくら口酸っぱくロータリーの綱領の一行に書いてあるロータリーの目的など言っても誰も入ってきません、私はロータリーというのは先ず自分の事業所が健全に経営出来て俺達のクラブに入れば貴方の会社が更に健全に経営できるよと、先生が40人御師匠さんがいるんだ、この人たちはもう一寸癖の青いのもいるけれども会社経営のためには学校などで教えないような経営学を教えてもらえるし、こういうことで人格も高まるし従業員もついてくるし、その結果売上に繋がっていくと言う事、事例を何人も示して、みなさいあの人もでしょ、この人もでしょ、大河原クラブではこの町でも有力な会社の社長さん達が相当入っているわけですから、実際のお手本を見せているわけですから、こういうことを口酸っぱく口説く、ライオンズとロータリーの違いなどとは、青年会議所との違いなど、そんなことはどうでもいいのでロータリーとはと言うよりも、大河原ロータリークラブとはこういうところだ、こういう方がいるというアピールを私はするべきではないのかなと思います。

今日はこの様なところで、まだまだ話はあるのですがもう時間となりましたので、あと一つ今の世界のロータリーはガバナー月信とかロータリーの友を読んで分かると思いますが、昔20年以上前から職業奉仕と言う概念は全くなくなっている、世界のR I が言っています、私は日本のロータリーは昔から言う職業奉仕という事を第一の基盤に書かれたロータリーでないと、絶対先行き潰れると思っています、アーサーフリデックシェルドンという、古い人だったら最もよく奉仕するもの最もよく報われると言った人ですが、この人は途中でロータリーに嫌気をさして辞めたのですよ、だんだんR I 本部がそんなのどうでも良いのだよ職業よりも困っている人に対してポリオ撲滅だとかそのような事を行い、会社の実業も職業奉仕も自分の腕を使って世界に奉仕しなさいと教えたのです、シェルトンさんはこういうこと言っていない、その自分の職業とか腕で奉仕するのではないか、自分の会社を発展させるために、その自分の職業とか自分の腕で奉仕をする自分の会社を発展させるために腕や職業のスキルアップをして健全な利益を上げてそしてその浮いたお金を寄付するのは良いけれども今のロータリーは寄付寄付ということで寄

付すれば目的を達成している、そういう意味で企業とか自分の本業は健全な経営をして健全な利益を得る事が目的ですから、それを行えた結果でロータリー活動に、会社を持ち帰ってアイサーブと言って、ライオンズなどはウイサーブみんなでゴミ拾いしよう、ロータリーは本来、みんなでゴミ拾いに行く団体ではないのです、その精神をここで学んで自分の家に帰って家庭とか会社へ帰って会社の従業員にそれを教えて、従業員達はそのゴミ拾いに行ってくれるように向けるのであって、悪いのですけれどもこの年寄りがいくら外へ行って稼いだって若い人達には敵わないですから、そういう事を確り勉強して会員増強に繋げて欲しいと思います。



▲会長より御礼の挨拶